

防衛産業の環境変化と国際供給モデル

～国際協力を前提とした日本企業の参画可能性と判断軸～

— 講師 —

PwC コンサルティング合同会社 PwC インテリジェンス

マネージャー 富澤 寿則 氏

日時 2026年6月24日(水) 午前10時～12時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)
会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

[重点講義内容]

防衛産業は、成長戦略の検討分野として注目される一方、少子化、サプライチェーンの脆弱性、事業継続の不確実性といった制約を抱えています。

本講演は、公表レポート「防衛産業をめぐる環境変化と企業の選択」を基に、防衛産業を単なる装備品供給ではなく、技術・供給網・経済安全保障を含む産業構造として捉え直します。そのうえで、完成装備品輸出、国際共同開発・共同生産、リージョナル整備拠点の三形態から成る「国際供給モデル」を軸に、日本企業の参画可能性と判断軸を提示します。

1. 防衛産業をめぐる環境変化
2. 日本の防衛生産・技術基盤が抱える構造的制約
3. 国際協力を前提とした「国際供給モデル」
4. 日本企業の防衛分野参画を巡る可能性
5. 防衛分野への関与における判断軸
6. 防衛産業の将来像と企業に求められる選択
7. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 富澤 寿則(とみざわ ひさのり)氏

省庁での勤務時にロシアへ赴任、兼務としてトルクメニスタン・ウズベキスタンを担当。これら地域にて、地政学リスク関連の情報収集・分析を担当。退官後、民間企業で危機管理エキスパートを務めた後、金融機関のサイバーセキュリティ部署で主にロシアのハッカー集団による脅威動向を分析。2025年1月よりPwC Intelligenceに参画。

